

第64回

日本太鼓全国講習会



熊本城

期 日 2019 年 2 月 16 日 (土)・17 日 (日)

会 場 熊本県・宇城市中央公民館

主 催  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団熊本県支部

後 援 文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、
宇城市教育委員会、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

会 長 松 本 英 昭

公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部を設け、加盟団体数約700団体、会員総数約19,000人を数えております。資格認定制度に基づく公認指導員、技術認定員の総数も海外を含めそれぞれ218名、12,189名と着実に増えております。

今年度の主な事業としては、10月には東京都にて「第20回日本太鼓全国障害者大会」を開催し、天皇陛下の行幸を賜るなかで、演奏と体験発表を披露しました。さらに、大分県で開催した「第33回国民文化祭おおいと2018－太鼓の祭典－」では、公募団体を含む33団体が参加し、全国各地の特色ある演奏を披露しました。来月には、福島県において「第21回日本太鼓ジュニアコンクール」を開催します。全国40都道府県及び3地区から選拔された59団体に加え、ブラジル・台湾からも出場し、計61団体が日頃の練習の成果を競います。この大会の様子はインターネット配信により、全世界に中継する予定です。

また、日本太鼓は、国内のみならず海外においても多くの方々に愛好されており、当財団は、日本太鼓による国際親善、文化交流の一翼を担うため、太鼓団体の海外派遣・招請、並びに日本から指導者を派遣し講習会等を実施しています。今年度は、独立行政法人国際協力機構（JICA）からの委託を受け、日系ブラジル人6名の研修生を受け入れ、太鼓の指導者を養成しています。研修生は全国各地で様々な打法を学ぶほか、当講習会で公認指導員の取得をめざします。

このように日本太鼓が脚光を浴びるなか、熊本県宇城市・中央公民館等において「第64回日本太鼓全国講習会」を開催できますことは、誠に喜ばしいことであります。この講習会は、日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行うものです。参加される皆様には、一流講師の指導のもと技術を習得するだけでなく、太鼓の歴史や礼節も学んでいただきたいと思います。さらに、全国の仲間と交流を図り、思い出に残る講習会になりますことを期待しております。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びボートレース関係者、また本講習会にご支援ご協力をいただきました文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、宇城市教育委員会をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の全九州太鼓連合、日本太鼓財団熊本県支部の皆様にご心からお礼を申し上げます。



全九州太鼓連合

名誉会長 長谷川 義

公益財団法人日本太鼓財団主催の「第64回日本太鼓全国講習会」が、熊本県宇城市において開催されますことは、九州7県の会員一同、大変喜ばしく、また光栄に存じます。

九州の地では、平成10年度に鹿児島県霧島市で開催された「第2回日本太鼓全国講習会」に始まり、以来、これまで九州で開催された全国講習会は今回で20回目を数えます。その成果として、日本太鼓ジュニアコンクール全国大会での九州勢の成績を見れば、顕著に現れていることがよくわかると思います。

昨年12月に人吉市で開催した「第13回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」では各県支部大会の上位40チームが出場しましたが、今回はこれまでに増してレベルの向上が見られました。

その理由の一つに、各県の上位に入ってくる団体は、「基本」の重要性を理解し、よく練習しています。これも毎年九州で開催していただいている全国講習会の成果の一つだと思っています。選手である子供たちも、その指導者も日本太鼓に対する正しい知識や技術を学ぶことはとても大切なことであり、重要なことです。

そういった意味で、今回開催される全国講習会は、特に意義のあるものであり、この講習会を主催される公益財団法人日本太鼓財団におかれましては、毎年、この九州の地で開催する機会をいただき、心より感謝いたしております。受講される皆様におかれましても、日本太鼓界のトップクラスの先生方にお集まりいただいておりますので、収穫の多い実りある講習会になると確信しております。ぜひ、多くのものを学び、身につけていただきたいと思います。

最後に、本講習会の開催にあたり、ご支援をいただきました文化庁、熊本県、宇城市など、多くの関係団体の皆様に心より御礼申し上げます。

また、遠く九州の地にご足労いただきました講師の先生方に対し、心より感謝を申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



日本太鼓財団 熊本県支部

支部長 渡 辺 孝 昭

本日は「第64回日本太鼓全国講習会」を当地、熊本県で開催するにあたりまして、ご来場の皆様には心よりお礼と感謝、そして歓迎を申し上げます。

熊本は5年前の熊本地震に際しまして、温かいご支援、ご協力をいただきまして、また全九州太鼓連合の皆様には熊本地震復興支援という名目で日本太鼓ジュニアコンクール九州大会を、昨年無事開催したこと、重ねてお礼を申し上げます。

熊本では、地震の影響で練習場の崩壊被害がなくても、被災者の避難場所として利用され、何か月も練習場が使用できない日々が続きました。

皆様の温かいご援助のもと、練習場が次々と復活し、昨年のジュニアコンクール熊本県予選で出場参加団体も35団体と復活いたしました。

「日本太鼓全国講習会」は、太鼓の成り立ち、打法、心構え、技術の向上と、目を見張るものがあります。これを機に地域の皆様には太鼓に親しみ、触れ合い、地域発展と太鼓の発展向上を切に願っています。

最後になりましたが、本講習会の開催にあたり、ご指導される講師の先生、公益財団法人日本太鼓財団、全九州太鼓連合、開催にあたりましたスタッフの皆様、その他各団体の皆様には心よりお礼を申し上げます。

第64回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を促し、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2019年 2月 16日（土） 11：00（受付開始 9：30）
17日（日） 12：30 講習会終了
*専門講座を受講された方は、講話「太鼓について」（長谷川 義氏）を13：30より受講後、14：30頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13：30より実施します。
3. 講習会場 宇城市中央公民館（熊本県宇城市）
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団熊本県支部
6. 後援 文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、宇城市教育委員会、日本財団
7. 講習内容
 - (1) 総合指導 古屋 邦 夫 氏（財団技術委員長）
 - (2) 専門講座 源流太鼓講座（複式複打法） 長谷川 義 氏（大分県）
八丈太鼓講座（単式複打法） 菊 池 修 氏（東京都）
三ツ打太鼓講座（複式単打法） 河 合 睦 夫 氏（富山県）
 - (3) 基本講座 3級基本講座 安 江 信 寿 氏（石川県）
4級基本講座 若 山 雷 門 氏（岐阜県）
5級基本講座（初心者講座） 田 中 俊 己 氏（長崎県）
専門講座講話 長谷川 義 氏（大分県）
更新研修会 浅 野 昭 利 氏（石川県）
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約200名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行って下さい。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参して下さい。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参して下さい。
カシバチ 太さ 7.5分～8.0分 長さ 1尺3寸～1尺4寸
太さ 6.0分～6.5分 長さ 1尺3寸～1尺4寸
*専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
寝タバコは絶対に禁止します。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を、講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受験希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受験資格並びに方法

○ 1 級技術検定

2 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 3 回合格する必要があります。専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○ 2 級技術検定

3 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 2 回合格する必要があります。専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2 級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2 級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。

○ 3 級技術検定 4 級技術認定員のみ受験できます。

○ 4 級技術検定 5 級技術認定員のみ受験できます。

○ 5 級技術検定 10才以上であれば初心者を含めどなたでも受験できます。

（2019年4月1日までに10才を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1 級認定料 20,000円、 2 級認定料 10,000円、 3 級認定料 8,000円、
4 級認定料 5,000円、 5 級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受験方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が一人一冊必要となります。お持ちでない方は、売店でお求め下さい。

第64回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2019年2月16日（土）

時 間	進 行	文化会館	外部施設
09：30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。	1階ロビー	
	*男子更衣室：		
	*女子更衣室：		
09：40	*講習内検定者打合せ会（基本講座講師・講習内検定参加者）		
11：00	開会式 国歌斉唱 あいさつ （公財）日本太鼓財団 塩 見 和 子 理事長 全九州太鼓連合 長谷川 義 名誉会長 日本太鼓財団熊本県支部 渡 辺 孝 昭 支部長 来賓祝辞 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞	小ホール	
	講師模範演奏 オリエンテーション *記念写真（講座別）		
12：00	昼食・休憩 *昼食後、各会場へ移動	各会場	
13：00	総合指導 講師：古 屋 邦 夫 氏 源流太鼓講座 講師：長谷川 義 氏 八丈太鼓講座 講師：菊 池 修 氏 三ッ打太鼓講座 講師：河 合 睦 夫 氏 3級基本講座 講師：安 江 信 寿 氏 4級基本講座 講師：若 山 雷 門 氏 5級基本講座 講師：田 中 俊 己 氏 更新研修会 講師：浅 野 昭 利 氏 古 屋 邦 夫 氏 長谷川 義 氏		
18：00	講習終了 講習内検定打合せ会：		
19：00	夕食・入浴 消灯・就寝		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2019年2月17日（日）

時 間	進 行	文化会館	外部施設
	起床 朝食 片づけ ＊荷物は各講習会場に持参		
8：45	朝の集い（体操用に運動着を着用のこと）	各会場	
9：00	総合指導 講師：古 屋 邦 夫 氏		
	源流太鼓講座 講師：長谷川 義 氏		
	八丈太鼓講座 講師：菊 池 修 氏		
	三ツ打太鼓講座 講師：河 合 睦 夫 氏		
	3級基本講座 講師：安 江 信 寿 氏		
	4級基本講座 講師：若 山 雷 門 氏		
	5級基本講座 講師：田 中 俊 己 氏		
	更新研修会 講師：古 屋 邦 夫 氏		
11：00	講習終了 成果発表会準備	移動・準備	
11：30	専門講座成果発表会	小ホール	
12：00	閉会式 あいさつ （公財）日本太鼓財団 長谷川 義 副会長 日本太鼓財団熊本県支部 渡 辺 孝 昭 支部長		
12：30	昼食・休憩		
13：00	専門講座成績発表		
13：30	専門講座講話：「太鼓について」 長谷川 義 氏		

<以降、検定受験者のみ>

13：30	検定試験（筆記） 5級→3級→4級 終了次第、実技試験を受験		
	検定試験（実技） 4級→3級 終了次第、学科試験を受検		
	5級 受講待機場所：		
15：30 （予定）	成績発表 （全員） ＊合格者は手続き終了後解散		
16：00 （予定）	終了予定		

講師プロフィール



基本講座・更新研修会 総合指導

講師 古 屋 邦 夫

御諏訪太鼓保存会(長野県)会長
(公財)日本太鼓財団技術委員会委員長
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 支部長

- 1967年6月に御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴52年を数える。
- 1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。
- 1978年10月、長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。
- 1998年4月から当財団の技術委員会委員として活躍している。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。



更新研修会 「更新研修会講話」

講師 浅 野 昭 利

(一財)浅野太鼓文化研究所 理事長

白山市生まれ。慶長14(1609)年より続く和太鼓製造技術を継承するとともに太鼓文化の振興と発展を目ざし、太鼓演奏団体の養成や指導者育成、太鼓関連書籍の出版、イベント開催、講演活動などを行う。株式会社浅野太鼓楽器店代表取締役、浅野太鼓祭司株式会社代表取締役社長、太鼓の里響和館代表、NPO法人おやこの広場あさがお理事長も務める。2006年経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業100社」表彰、2007年白山市より地域文化賞受賞。

講師プロフィール



専門講座・更新研修会
「源流太鼓講座」(複式複打)
「専門講座・更新研修会講話」

講師 長谷川 義 ただし

豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県)代表
(公財)日本太鼓財団 副会長
(公財)日本太鼓財団 1 級公認指導員
全九州太鼓連合 名誉会長

九州の温泉地として有名な由布院は大分県の中央部に位置し、豊後富士といわれる由布岳の裾野、海拔500mの静かな町です。

ゆふいん源流太鼓は、地元で400年という長い歴史の中を名も無く、営々と打ち鳴らされてきたと伝えられる由布院のリズムを現代に引き継ごうと昭和54年に誕生しました。由布岳の裾野に毎夜集まり、四季折々の自然を相手に練習しながら、身体の中から古代のリズムを再現しています。世界中に、ゆふいんの音色が響きわたる日を楽しみに活動しています。



専門講座
「八丈太鼓講座」(単式複打)

講師 菊池 修

八丈太鼓六人会(東京都)代表
(公財)日本太鼓財団 1 級公認指導員

南国情緒豊かな八丈島は、関ヶ原合戦に敗れた宇喜田秀家公が流された流人の島として知られています。八丈太鼓の原点は、武器(刀)を失った流人が、そのうっぶんを太鼓のバチに託して打ち鳴らしたもので、打つ様と響きは血湧き、肉踊る感じを覚えさせてくれます。一つの太鼓を二人で表(上拍子)と裏(下拍子)を打つ両面打ちから生まれる独自のリズム、太鼓の音にあわせて歌われる太鼓節は東京都の無形文化財に指定されています。

八丈太鼓のシンプルさと自由奔放に打ち鳴らす形が他の地域では見られないもので、日本の太鼓の中でも独自の位置づけをなされています。現在の六人会は、菊池修を中心に13名のメンバーが国内外を問わず広く演奏活動しています。

- 1955年、東京都八丈島に生まれる。11才の頃から太鼓好きの大人のなかに入り、兄弟にて打ち始める。中学・高校・社会人と兄弟太鼓で全国各地へ。
- 1981年に同年代の太鼓好きの仲間を集い、八丈太鼓六人会を結成する。最初は6名で始めたメンバーも現在は13名と徐々に増えている。
- 八丈島の太鼓代表として国内はもとより各国からの要請で演奏活動を行っている。

講師プロフィール



専門講座

「三ツ打太鼓講座」(複式単打)

講師 河合 睦 夫

越中いさみ太鼓保存会(富山県)相談役
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
富山県太鼓協会名誉会長

- 1943年 野村島(現・砺波市)に生まれる。
- 1953年 越中いさみ太鼓保存会結成と同時に入会して現在に至る。
- 1960年 北陸三県太鼓打番付、曲打ちの部優勝。
- 1978年 第1～3回富山県太鼓打ち競技会3年連続優勝により、富山県太鼓協会より初代名人位を授与される。
- 1994年 富山県太鼓協会会長に就任する。
- 2010年 第7回日本太鼓シニアコンクールにおいて『名人位』を受賞する。
- 2012年 富山県太鼓協会会長を退任し、『名誉会長』に就任する。



基本講座

「3級基本講座」

講師 安江 信 寿

手取亢龍太鼓保存会(石川県)
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1989年、手取亢龍太鼓を結成。リーダーとして地元に伝わる虫送り太鼓のリズムを残しながら、現在の演奏スタイルを確立する。
- 石川県太鼓連盟企画副委員長として、連盟組曲100人太鼓「加賀の響き、能登の響き」の作調・指導をした。また、石川県太鼓連盟主催の初心者教室、県立聾学校中学部の和太鼓クラブ、県内高校演劇クラブ、全国海づくり大会での合同演奏を指導している。
- その他、松任市保育園児600人虫送り太鼓の合同演奏、スポレク石川2000での100人太鼓の指導等を行っている。
- 日本太鼓ジュニアコンクールでは、第1回、第2回大会ともに舞台監督として活躍した。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 若山 雷門

日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクト(岐阜県)代表
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
岐阜県教育委員会 特別非常勤講師

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 17才にして夏祭りの櫓太鼓に心ひかれ撥を握る。
- 1980年、日本の太鼓まつり出演を皮きりに太鼓曲の作調、振り付け及び育成指導と併せて国内外に演奏活動を展開する。
- 1984年、荘厳な神話の歴史を貫いて誕生した世界最大級「ん太鼓」(直径2.4m)の打頭となり「ん太鼓奉賛会」より鼓号「雷門」を襲名する。また、中部圏を基盤に日本太鼓集団／鼓国雷響プロジェクトを創設し、それぞれ地域の観光、地場産業振興のために民俗芸能を継承している。
- 1996年4月、KOKOKURAIKYOU-HEADTEAM「鼓国雷響JAPAN」をJAPAN代表雷華と共に旗揚げした。
- 各地団体の指導を行ない、既にその数100チームを越える。
- 2011年5月から2015年3月まで当財団代議員、岐阜県支部副支部長を歴任した。



基本講座

「5級基本講座」

講師 田中 俊己

おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)代表
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
全九州太鼓連合副理事長・技術委員

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1949年 1月1日東京生まれ。
- 13歳の時に東京都大田区の盆踊り太鼓を独学で習得。
- 26歳の時に長崎県大村市に転居、地元の祭り太鼓に関わる。
- 29歳の時に「おおむら太鼓連くじら太鼓」結成。
- 1995年全九州太鼓連合設立発起人、初代事務局長に就任。
- 1997年(財)日本太鼓連盟運営委員に就任。
- 2007年 3月ジュニアコンクールにおいて「くじら太鼓」を優勝に導く。
- 2009年全九州太鼓連合副理事長に就任。
- 2010年(財)日本太鼓連盟技術委員に就任。
- 「くじら太鼓」を結成以来、九州各地の太鼓団体40団体以上を指導。
- 地元大村を中心に、30年間で長崎県内の子供達6,000人以上を指導、現在に至る。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30才以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10才以上の年齢に達した者。

公益財団法人日本太鼓財団概要

＜設 立 日＞ 1997年11月11日

＜公益財団移行日＞ 2012年 4 月 1 日

＜資 産＞ 基本財産 3 億円

＜加盟支部数＞ 45支部（41都道府県）

＜加盟団体数＞ 約700団体

＜会 員 総 数＞ 約19,000人

＜役 員＞	会 長	松本 英昭	（一社）地方公務員共済組合協議会会長
	副 会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
	副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
	理 事 長	塩見 和子	常 勤
	常務理事	大澤 和彦	常 勤
	理 事	石井 幹子	（株）石井幹子デザイン事務所代表取締役
	理 事	大宅 映子	評論家
	理 事	島津 久永	（公財）山階鳥類研究所顧問
	理 事	中西 由郎	元（公財）日本ゲートボール連合専務理事
	理 事	山内 強嗣	（福）富岳会理事長

＜評 議 員＞	評 議 員	大竹 英雄	（公財）日本棋院顧問（名誉碁聖）
	評 議 員	岡田 知之	（公社）日本吹奏楽指導者協会会長
	評 議 員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
	評 議 員	北村 汎	元駐英大使
	評 議 員	佐藤 淳子	（一財）ライフ・プランニング・センター理事
	評 議 員	高島 肇久	（株）海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長
	評 議 員	濱田麻記子	（株）林原チャンネル代表取締役社長
	評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
	評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
	評 議 員	渡辺 貞夫	音楽家

＜監 事＞	監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
	監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

（敬称略）

2019年度の主な事業活動予定

◇第23回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2019年5月24日(金)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：未定
出演団体：6団体程度

◇第4回大学太鼓フェスティバル

期 日：2019年8月29日(木)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
出演団体：15団体程度

◇第21回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2019年10月6日(日)
場 所：倉敷市玉島文化センター(岡山県倉敷市)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：日本太鼓財団岡山県支部
出演団体：30団体程度

◇第34回国民文化祭・にいがた2019「太鼓の祭典」

期 日：2019年10月13日(日)
場 所：上越文化会館(新潟県上越市)
主 催：文化庁、厚生労働省、新潟県、第34回国民文化祭、第19回全国障害者・芸術文化祭新潟県実行委員会、上越市、第34回国民文化祭、第19回全国障害者・芸術文化祭上越市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団新潟県支部
出演団体：45団体程度

◇第3回浅草太鼓祭

期 日：2019年11月3日(日・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

◇第16回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2019年11月17日(日)
場 所：輪島市文化会館(石川県輪島市)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

◇第22回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2020年3月22日(日)
場 所：名古屋国際会議場センチュリーホール(愛知県名古屋市)
主 管：中日本太鼓連合、日本太鼓財団愛知県支部
出場団体：60団体程度

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第65回日本太鼓全国講習会

期 日 2019年 6 月29日(土)・30日(日)

開催地 岩手県八幡平市

◇第66回日本太鼓全国講習会

期 日 2019年 9 月21日(土)・22日(日)

開催地 岐阜県高山市

◇第67回日本太鼓全国講習会

期 日 2020年 2 月15日(土)・16日(日)

開催地 佐賀県佐賀市

*各事業、講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式ホームページまたは財団事務局(Tel. 03-6205-4377)までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2019年2月現在)

級 \ 区分	公認指導員	技術認定員
1 級	42 名	189 名
2 級	34 名	384 名
3 級	142 名	1,382 名
4 級	—	2,453 名
5 級	—	7,781 名
計	218 名	12,189 名



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp